



国際緊急援助隊・救助チーム IER受検 「Heavy」級評価再認証

参事官

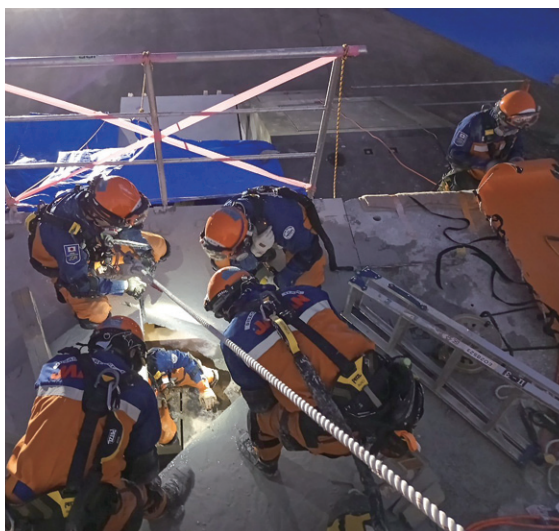
1 IERの概要

令和4年11月8日（火）から10日（木）の間、兵庫県広域防災センター及びニチイ学館 神戸ポートアイランドセンターにおいて、国際消防救助隊員もその一員である国際緊急援助隊（JDR）・救助チームがIER（INSARAG External Reclassification：外部再評価）を受検しました。

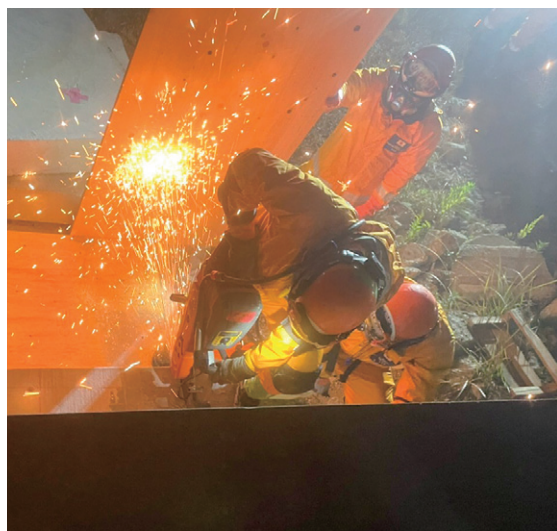
IER認証は、被災地において国際救助チームに捜索救助の活動現場を割り当てるための指標として活用されており、全世界で、最初の認証であるIEC（INSARAG External Classification）を含めると、35の救助チームが最上級の「Heavy」級に認証されています（令和4

年11月現在）。JDR・救助チームは、平成22年に初めて「Heavy」級評価の認証を獲得しましたが、派遣された被災地において、十分な役割を果たすためには、「Heavy」級の認証を保持し続ける必要があります。（IEC/IER認証の有効期限は、原則5年間。）

能力評価は、INSARAGから派遣された評価員（今回は8名）が、受検チームが行う派遣シミュレーション訓練（36時間の連続した訓練）を考査し、IEC/Rチェックリストにある約170項目について評価する形で実施され、全ての項目をパスすることで認証されることになります。



200mmの鉄筋コンクリートを下方向へのブリーチングで貫通
その開口部からロープによる縦方向の救出



厚さ20mmの金属板をエンジンカッターで切断



2 今回のIER受検の内容及び結果について

IERは、11月8日の評価員への派遣体制等に関する説明から始まり、その後、11月9日6時から連続36時間に及ぶ派遣シミュレーションが実施されました。実際の派遣と同様に、成田国際空港集結から出国手続き、被災国入国手続き、被災国政府や他の国際救助チームとの各

種調整、宿営地の設営、建築物崩壊現場における捜索・救助活動などを行いました。隊員はINSARAGガイドラインに沿った活動を行い、評価員から高い評価を受け、派遣シミュレーションの翌日、11日に、「Heavy」級評価の再認証を受けることができました。



記念写真：【Heavy】級評価認証式

3 おわりに

今回の受検で「Heavy」級評価の再認証をいただきましたが、このことに満足することなく、常に万全の体制で被災者に手を差し伸べることができるよう、消防庁にお

いても、関係省庁や機関との緊密な連携をとりながら、引き続き、実戦的な訓練や研修を通じて国際消防救助隊員の能力強化に努めていきます。



国際消防救助隊からIER受検に参加した隊員及びエクスコン

問合せ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
遠藤国際協力官／廣田係長／長谷事務官
TEL: 03-5253-7507